

「逆差別」論を考える



女性専用車両を「男性差別」とみなすのなら、優先席も若者や健常者に対する「逆差別」になるの？

「差別ではなく区別」ならいいの？



白人専用(左)黒人専用(右)の学校 (1930年代ジョージア州)
当時のアメリカ南部ではこれでも「差別ではなく区別」だと思われていた。

差別反対論は個人の自由を抑圧する？



差別は正策に対して、「強引だ」「間違っている」「新たな差別だ」と反対する人もいます。大きな格差を改善するには、どうしたらいいの？

差別をなくそうとするのは独善・正義の押し付けなの？



人種差別解消を求める人々の平和的な行進
行進する人たちに暴行を加える州警察 (1965年アラバマ州セルマ)

「怖い」のは、どっち？



(図1)

差別などもうない？



戦時中、健康であれば、結婚出産も「国のため」に誰もが行うべきことだった。「国益」によって個人の選択の自由が制約されるようなことは、もはや起こらないの？

第35回 人文学の挑戦

「もう差別なんてない」
と思っているあなたへ
— アメリカのこれまで、日本のこれから —

講師



大森 一輝

北海学園大学人文学部
英米文化学科教授(アメリカ史)



森川 美生

北海学園大学および北星学園大学
非常勤講師(ジェンダー研究)

概要

差別について論じようとする、「もう差別なんてない」とか「差別でなく区別なのだから問題ない」とか「今や逆差別こそが問題だ」と反論されることがあります。でも、ジェンダー・ギャップ指数が世界最低レベルのこの国では、進学、就職、結婚と「世間」に踏み込んでいくほど、女性であることで別扱いを受けます。外国人や自己主張をするマイリティが増えるなか、ネットでもリアルでもヘイトが蔓延しています。そう、「差別」は、どこにも存在しているのです。見えない／見ないだけで。

第35回人文学の挑戦では、『もう差別なんてない』と思っているあなたへ—アメリカの経験から日本の現在と未来を考える』(図1)を小鳥遊書房から上梓した本学部の大森一輝教授が、共著者の森川美生氏とともに、「差別をなくそうとするのは正義の押し付けなのか」について問題提起します。

【主催】北海学園大学人文学部 【共催】紀伊國屋書店札幌本店

2024年10月20日[日] 14:00-15:30

紀伊國屋書店札幌本店

sapporo55ビル 1F
インナーガーデン

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 ☎ 011-231-2131

お問い合わせ: 北海学園大学 人文学部英米文化学科 柴田崇 shibata_ta@hgu.jp

参加無料

予約不要